

VB経営 虎の巻

先日、学生を前に講演した。これから就職活動という3年生から「就職先として大企業を選ぶべきか、ベンチャー企業を選ぶべきか」と質問されたので、こう答えた。「決まったことをこなしていく道を選ぶのであれば大企業。自分の可能性を試したいのであればベンチャー企業。個人的にはベンチャー企業を志望してほしい」

就職に限らず、今の若者が生きていくのに欠かせないのが、課題形成力。だろ

就活の3年生に訴えろ



インディゴブルー社長 柴田 励司氏

1985年上智大文卒。マ
ーサー・ヒューマンリソース
・コンサルティング現マール
ージャパン社長などを経て、
に就任。10年6月から現職。

就業体験で醍醐味アピール

若者にこの力を鍛えてもらいたいという思いから、ベンチャー企業を勧めた。

1985年上智大文卒。マ
ーサー・ヒューマンリソース
・コンサルティング現マール
ージャパン社長などを経て、
に就任。10年6月から現職。

ろ。過去において正解であったことも明日はどうなるかわからない——そんな時代だ。与件をうのみにはせず、自ら目標を設定し、実行して検証する力が必要になる。ベンチャー企業で働けば毎日、いや応なしに課題形成力が求められる。そんな中、リクルートが今

民間調査会社などによる「大学生の就職希望企業ランキング」では依然として、学生の大企業志向が強い。ランキングは「ランキン

セスで競うのではなく、インターシップ(就業体験)を積極的に受け入れ、ベンチャー企業で働く魅力とリクスを体感してもらうのがよいだろう。

ベンチャー企業の現場では「誰かがやってくれるだろう」という他人頼みは通じない。自分で自分の仕事をデザインして、トライ&エラーを繰り返しながら、より良い結果を導くよう動くことが求められる。全員がレギュラーであり、プロであることが求められる。この醍醐味はやってみたいと分らない。

そういう働き方をしたいと思う若者を、出迎えよう。素晴らしい。